

として、清水恒信会員のお店を考えております。お店が長い歴史に終止符を打つということで、最後に、多くの会員の参加をお待ち申し上げております。

③年に一度「抜萃の綴り」という冊子が送られてきます。東京のロータリアンがこの一年間で気になった文章を取りまとめたご本となっております。ご興味のある方は差し上げられるので、事務局まで。

委員長報告・派遣役員報告

■親睦委員会 委員長 岡部 勉

12月20日(月)、クリスマス夜間例会を開催します。17時受付開始、18時点鐘。ご家族の参加は1名までとさせていただきます。奮ってのご参加、お待ちしております。

■女子部会 会長 福田 和子

11月29日(月)、大宮駅前早朝掃除を行います。ベストを着て行きます。ご都合の合う方は、6:30集合ですので、お越しくください。



卓 話

さいたま市役所経済局商工観光部
経済政策課支援係 徳田 真悟 様



SDG sについて、簡単にわかりやすく解説していただきます。また、さいたま市の取り組みについてもご説明いただきます。

●ご紹介
プログラム委員会
副委員長
山崎 一祥



企業にとってのSDG s

■SDG sを知っていますか？

- さいたま市民のSDG s認知度
2019年：22.4% → 2020年：66.7%
『認知率』は、年代が下がるにつれ高くなる傾向があり、18~29歳で78%、若い世代がけん引役となっていくことが期待されます。
- さいたま市内の企業のSDG sの認知度・取組状況について
認知度は市民同様に高い(68.8%)のに比べ、取組み状況はかなり低い状況(13.4%)です。どうして事業者はSDG sに取り組まないのでしょうか？
→「具体的な取り組み方が分からない」から。

■【企業にとってのSDG s = 経営そのもの】とさいたま市では考えています

さいたま市では「企業のあらゆる取組はSDG sの達成に繋がる」と考えています。

既存の事業活動の中でも振り返ってみると、17のゴールに寄与しているもの、貢献できるものは必ずあると考えています。

・2017年の世界経済フォーラムの中で、SDG sに取り組むことで「約1,240兆円を超える経済価値と3億8000万人の雇用が創出される」という推計が発表され、SDG sに取り組むことがビジネスチャンスにつながることも認識され始めています。

・環境や社会からの恩恵を受けて活動を行っていることを鑑みれば、事業活動を行う主体はSDG sを意識することが必要。

経済性だけに目を向けていると、環境破壊やブラック企業問題に発展し、ひいては事業継続を困難に。環境やステークホルダーを意識した持続性に目を向けなければなりません。

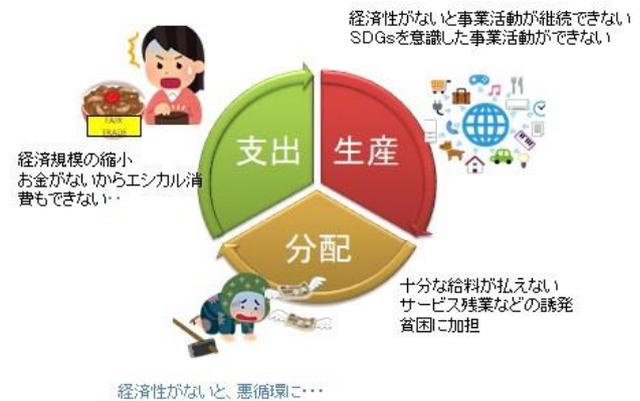
→そのためには、環境・社会・経済の3側面に与える影響に配慮したバランスのよい経営、いわゆる「トリプルボトムライン」が重要。



経済性をおろそかにしすぎると、従業員等の給料を適正に払えず、サービス残業の誘発や貧困に加担するおそれ、低賃金のために地域全体としての経済規模の縮小や、SDG sに取り組むための行動に移せなくなるなどの影響をあたえかねません。

そして需要が減るため生産活動も停滞し、分配もさらに減りといった悪循環に陥る恐れも。

企業にとってのSDG s (経済面での話)



・SDG sの取組を広げるためには

可処分所得の中央値の半分に満たない相対的貧困は、日本においても7人に1人いるといわれています。

ひとりひとりが意識を向け、フェアトレード商品を購入する等、エシカル消費をこころがけることで、SDG sのゴールに向けた取組ができるかもしれません。

企業だけでなくみなさんひとりひとりが意識して社会全体で取り組んでいくことが重要。

■さいたま市の取組み

①「民間シェアサイクル事業」の推進

2013年5月に事業開始→なかなかポートを増やすことができず、ポート数が大きく不足→民間事業者との連携...利用促進・エリア拡大。シェアスクーターや超小型EVも含めた実証実験を2025年3月末まで延長し実施。